

第80回  
ヴェネチア国際映画祭  
オリゾンティ部門正式出品

趣里

森山未來

塚尾桜雅

河野宏紀

利重剛

大森立嗣

あか

戦争が、終わったんだ

監督・脚本・撮影・編集・製作 塚本晋也

助監督：林啓史 照明：中西克之 音楽：石川忠 音響演出：北田雅也  
ロケーションコーディネーター：強瀬誠 美術：中嶋義明 美術デザイン：MASAKO 衣装：佐々木翔 ヘアメイク：大橋菜冬  
製作：海獣シアター 配給：新日本映画社 2023年 | 日本 | 95分 | ビスタ | 5.1ch | カラー  
©2023 SHINYA TSUKAMOTO / KAUJU THEATER hokage-movie.com

生き延びた人々が抱える痛みと闇 —  
塚本晋也が描く、戦後。

『野火』『斬、』そして —

戦争を民衆の目線で描き、  
現代の世に問う祈りの物語。

『鉄男』でのセンセーショナルな劇場デビュー以後、世界中に熱狂的ファンを持ち、多くのクリエイターに影響を与えてきた塚本晋也。戦場の極限状況で変貌する人間を描いた『野火』、太平の世が揺らぎ始めた幕末を舞台に生と暴力の本質に迫った『斬、』、その流れを汲んだ本作の舞台は『野火』の直後、終戦後の闇市。戦争で奪われたものと、絶望と闇を抱えたまま混沌の中で生きる人々を、映画はしたたかに描き出す。

主演は、NHK連続テレビ小説『ブギウギ』のヒロインに抜擢され、今最も活躍が期待されている俳優、趣里。孤独と喪失を纏いながらも戦争孤児との関係にほのかな光を見出す様を繊細かつ大胆に演じ、戦争に翻弄されたひとりの女を見事に表現した。片腕が動かない謎の男を演じるのは、映像、舞台、ダンスとジャンルにとらわれない表現者である森山未來。飄々としながらも奥底に蠢く怒りや悲しみを、唯一無二の存在感で示している。復員した若い兵士役にPFFグランプリ受賞作品『J005311』の監督でもある河野宏紀、戦争孤児を演じた塚尾桜雅は、一度見たら忘れられないその瞳で物語をより深く豊かに彩った。人間の中に潜む暴力、分ち難く絡む死と生を描いてきた塚本晋也が今を生きる全ての者に問いかける祈りの物語。

戦争と人間。  
空襲で家族を失った子供の目から見た、  
片腕が動かない男との旅、  
女が暮らす半焼けの居酒屋、

火と、その揺れに合わせて姿を変える影。  
その影の中に生きる人々を見つめ、耳をすます。

女は、半焼けになった小さな居酒屋で1人暮らしている。体を売ることが斡旋され、戦争の絶望から抗うこともできずにその日を過ごしていた。空襲で家族をなくした子供がいる。闇市で食べ物を盗んで暮らしていたが、ある日盗みに入った居酒屋の女を目にしてそこに入り浸るようになり…。



監督・脚本・撮影・編集・製作：塚本晋也  
助監督：林啓史 照明：中西克之 音楽：石川忠 音響演出：北田雅也 ロケーションコーディネーター：強潮誠 美術：中嶋義明 美術デザイン：MASAKO 衣装：佐々木翔 ヘアメイク：大橋茉冬  
出演：趣里 / 塚尾桜雅 河野宏紀 / 利重剛 大森立嗣 / 森山未來  
製作：海獣シアター 配給：新日本映画社 2023年/日本/95分/ビスタ5.1ch/カラー ©2023 SHINYA TSUKAMOTO/KAIJYU THEATER hokage-movie.com @hokage\_movie #ほかげ



劇場で上質な映画を観よう

2024年8月3日(土) 14:00開映(13:30開場)

チケット：一般¥1,000/シニア(65歳以上)¥800/ペア(2人)¥1,600

全席指定・税込

会場：松本市波田文化センター ACTHALL

プレイガイド・お問い合わせ：松本市波田文化センター  
(TEL:0263-92-7501 FAX:0263-92-7505 9:00~17:00日曜休館)

主催：一般財団法人 松本市芸術文化振興財団  
企画・協力：NPO法人松本CINEMAセレクト  
後援：松本市 松本市教育委員会